

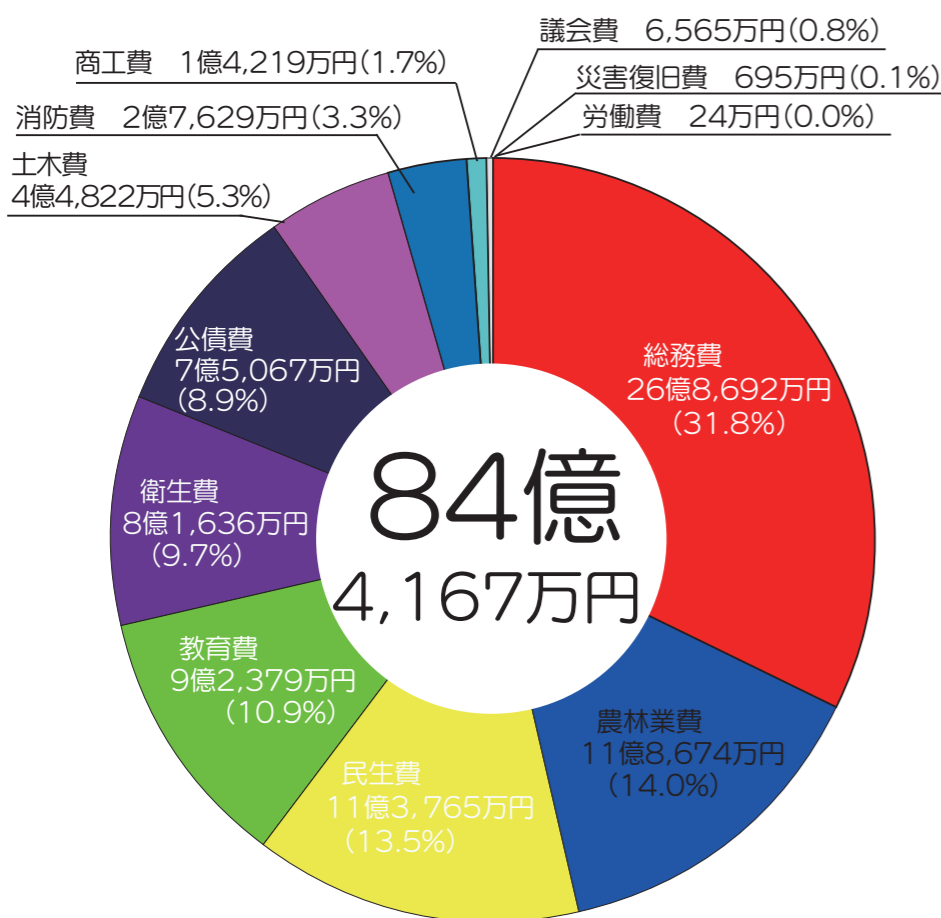
一般会計性質別内訳

	4年度決算額	3年度決算額	増減率
人件費	9億3,248万円	9億1,841万円	1.5%
物件費	9億6,034万円	8億7,146万円	10.2%
維持補修費	1億7,286万円	1億6,791万円	2.9%
扶助費	4億2,476万円	4億7,533万円	△10.6%
補助費	11億4,509万円	11億1,156万円	3.0%
公債費	7億5,067万円	6億1,597万円	21.9%

	4年度決算額	3年度決算額	増減率
積立金	9億234万円	11億5,507万円	△21.9%
投資出資金	0円	0円	0%
貸付金	0円	300万円	皆減
繰出金	4億4,649万円	4億8,200万円	△7.4%
投資的経費	27億664万円	14億3,988万円	88.0%
合計	84億4,167万円	72億4,059万円	16.6%

# 令和4年度の決算を報告します

皆さんが納める税金や国・道からの交付金などは、私たちの生活をより良くするためにいろいろな形で使われています。これらが、行政サービスとしてどのように使われたのか、一般会計を中心に令和4年度決算の状況についてお知らせします。

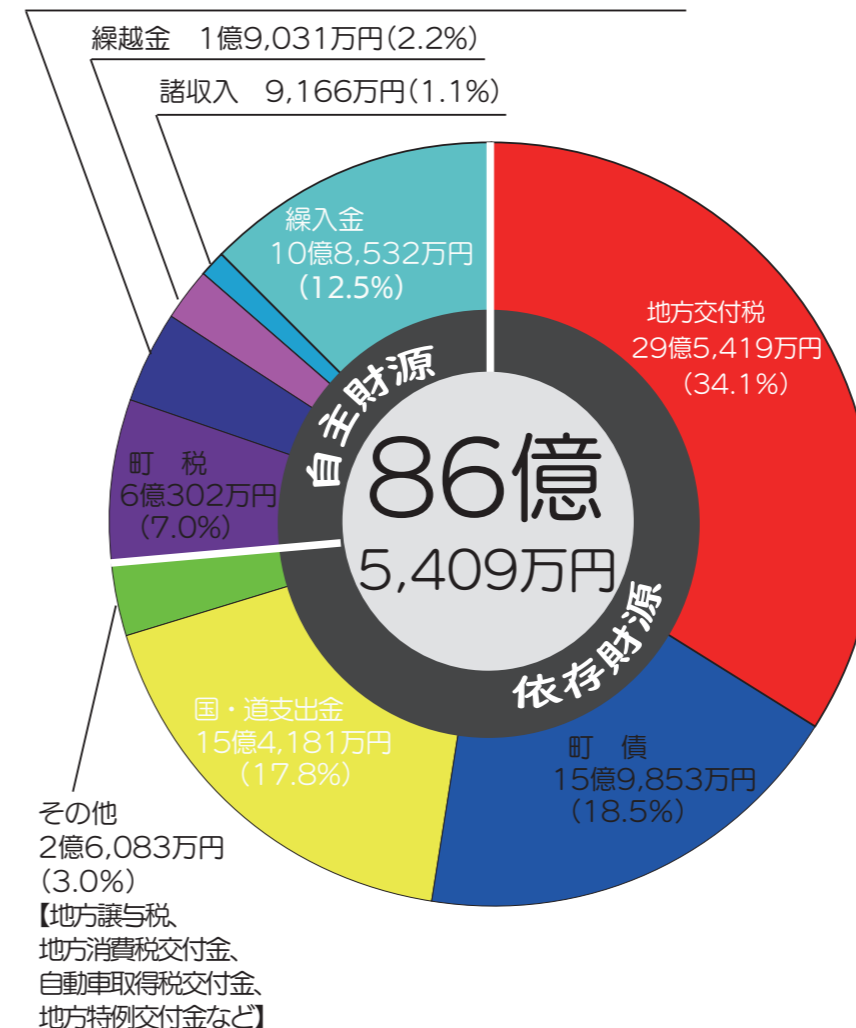


## 一般会計 歳出

**総務費が全体の約3割**

歳出の決算額は、84億4167万円で、対前年比16・6%の増となりました。これは総務費、農林業費、教育費等の増が主な要因となっています。歳出の内訳を見ると、総務費が森の健康館管理業務やまちなか再生事業等による32・2%の増、農林業費が地域バイオマス活用促進事業等による29・5%の増となっています。また、令和4年度では総務費が歳出全体の31・8%を占めています。

分担金その他 3億2,842万円(3.8%)  
【分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金】



## 一般会計 歳入

**令和3年度と比べて16・5%の増**

歳入の決算額は、86億5409万円で、対前年比16・5%の増となりました。これは大通・幸町地区コミュニティ施設整備事業に伴う国庫支出金及び町債の増が主な要因となっています。歳入の内訳を見ると、地方交付税が最も大きな財源になっており、令和4年度では29億5419万円で歳入全体の34・1%を占めています。これに国・道支出金、地方譲与税等の交付金などを合わせた依存財源は70・4%になります。

## 特別会計 歳入・歳出

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	6億3,798万円	6億3,739万円
後期高齢者医療事業	9,786万円	9,786万円
介護保険事業	6億6,932万円	6億6,887万円
下水道事業	3億8,420万円	3億5,950万円

## 企業会計 収益的・資本的収支

会計	収益的収支	
	収入	支出
簡易水道事業	1億8,667万円	1億9,770万円
特別会計	資本的収支	
	収入	支出
	3億3,819万円	3億7,143万円

## 令和4年度の主な事業(抜粋)

総務費	
まちなか再生事業	12億1,800万円
農林業費	
多面的機能支払交付金事業	6,349万円
国営農地再編整備事業推進事業	6,507万円
地域バイオマス活用促進事業	5億3,092万円

土木費	
道路橋梁維持整備事業	9,744万円
橋梁長寿命化修繕事業	7,581万円
教育費	
小学校施設整備事業	2億4,617万円
図書館施設整備事業	3,445万円